

## 科目名

# 薬局管理学 Pharmacy Administration

4年 前期 1単位 選択

佐伯 順一

## 概要

医療現場の中での開局薬剤師としての役割を十分に認識し、知識・技能を学ぶ事により地域住民や医療従事者に支持される薬局・開局薬剤師を目指す。

## 目標

〈一般目標〉

薬剤師として地域社会や医療現場に於いて、高い倫理観や豊かな人間性を持って人と接する事の重要性を認識すると共に、医薬分業の意義、セルフメディケーションなどに関する基本的知識、それらを活用するための基本的態度を修得する。

〈行動目標〉

- (1) 薬剤師として人間性豊かな行動ができる。
- (2) 医薬分業の歩みを理解し、今後の地域での薬局や開局薬剤師に求められる行動を説明できる。
- (3) 地域医療に於ける薬局の役割、開局薬剤師の役割を説明できる。
- (4) 薬剤師として医薬品の進歩に伴い日々研修の必要性を説明できる。〈C18(3)〉
- (5) 薬局の管理に必要な事項を列挙し説明できる。
- (6) 学校薬剤師の仕事が説明できる。
- (7) 在宅医療及び緩和ケアに於ける薬剤師の役割が説明できる。
- (8) 一般用医薬品・サプリメントについて学習する。

## 授業計画

1. 日本の医療環境・医薬分業の社会的評価
  - (1) 医薬分業の歴史を学ぶ
  - (2) 医薬分業のメリット・デメリットを理解する
  - (3) 薬学6年制のスタートによる、これからの薬剤師の姿
  - (4) 日本の社会保障について知る
  - (5) 医療保険と介護保険
2. 薬局管理
  - (1) 薬局の法的な位置づけ
  - (2) 管理薬剤師の仕事を知る
  - (3) 薬歴・医薬品・情報の管理
3. 地域の中での薬局・開局薬剤師
  - (1) 学校薬剤師の仕事
  - (2) 在宅医療の中での薬剤師の仕事
  - (3) 癌治療・緩和ケアの中での薬剤師の仕事
  - (4) チーム医療について知る
  - (5) 地域・学校での講演会活動
  - (6) アンチドーピング
4. 一般用医薬品とセルフメディケーション
  - (1) 一般用医薬品について学習する
  - (2) 薬局製剤・サプリメント・セルフケア用品
  - (3) 販売制度改革に伴い薬剤師と登録販売士の違い
  - (4) 生活習慣病・予防医学
5. 薬局の開設及び経営
  - (1) 薬局開設に必要な事項
  - (2) 薬局の経営計画について
  - (3) 経営診断について
  - (4) 日本薬剤師会及び地域薬剤師会
6. 薬局に於けるコミュニケーション
  - (1) コミュニケーションの必要な理由
  - (2) 薬剤師のマナーを知る
  - (3) 個人情報保護法及び守秘義務について知る
  - (4) 処方医とのコミュニケーション
7. 実習薬局で学ぶ事
  - (1) 保険請求と調剤報酬明細書
  - (2) 保険調剤のしくみ
  - (3) 後発医薬品の使用促進
  - (4) 正確な調剤と処方監査
  - (5) インシデント
  - (6) 医療機関との疑義照会

## 授業方法

講義中心

## 評価方法

レポート及び出席状況を基に総合的に評価する

## 教材

「薬局管理学」編集、上村直樹、下平秀夫（じほう）

## 参考書

「Q&A薬局、薬剤師の責任」編集、小林郁夫（西日本法規）  
「薬局の質を上げる業務改善」（南山堂）  
「知っておきたい一般用医薬品」（東京化学同人）